

マルチン・デ・ポレス

No. 82
2026年 1月

発行人:村上 敬祥 発行所:聖マルチン病院 坂出市谷町1-4-13 (0877)46-5195
ホームページ <https://sakaide-martinhp.jp/>

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、さわやかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

去年は「昭和100年」、我が国では憲政史上初の女性首相が誕生し、カトリックの世界では初のアメリカ出身で、聖マルチン・デ・ポレスの母国ペルーとの関係も深い新ローマ法王レオ14世が誕生しました。凍える日々に、寒心に堪えない事件やニュースが報じられる昨今ですが、今年こそは我が国と世界に真に安寧の日々が訪れることを祈念いたします。

さて、今年の干支は丙午(ひのえうま)、明るく活発で太陽のような生命力にあふれる飛躍の年といわれています。また、新年の始まりから年度末にかけての1、2、3月は何かと気忙しく、事を急ぎがちで時の経つのも早く感じられる時期です。「急」は、及と心を合わせた漢字で、前にいる人に追いつこうとはやる心を表しているのだそうです。そのような気忙しい時期こそ、飛躍の年「ひのえうま」の春の訪れる前に、まずはご自身の内側に目を向けてしっかりと丁寧に心身の手入れをする期間にあてられてはいかがでしょうか。当院で健康診断や人間ドックを受けていただくことで、糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防や生活改善、乳がんや胃がん、大腸がんなどの早期発見や早期治療に結びつけることが可能ですので、ぜひご利用ください。

おかげさまで、今年当院は77年目をむかえることができました。病院部門では、従来からの急性期病院や療養型病院としての機能に加えて、神経難病センターや緩和ケア病棟でのより専門的な機能を活かした医療を心がけて参ります。さらに、介護部門でのデイケアや訪問・居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅を通して、本年も地域の皆様の健康を支えるため、職員一丸となって安心安全な医療に取り組んでまいります。皆様にとって、健康で幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、本年も坂出聖マルチン病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。



病院長 村上 敬祥

病院の理念

私たちはキリスト教の愛にもとづいて生命の尊重、人格の尊厳と平等、病める人々の権利を守る医療を行い、心身の救いを目指します。

私たちは医療にかかわる者としての使命を深く認識し、人格の向上、相互愛、専門職の研究向上に励み、地域医療に役立つよう努力いたします。

聖マルチン・デ・ポレスは、

16世紀に南米ペルーに生まれ、

多くの病人やけが人をやさしく看病した

聖マルチン病院の保護者です。

基本方針

- ・良質で愛のある医療
- ・安全と信頼の医療
- ・地域に密着した医療
- ・質の高い高齢者医療とケア

「マルチン・デ・ポレス」は地域の皆様へ病院からの案内をご紹介します。皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

～ リバース型人工肩関節置換術の紹介 ～

当院整形外科で2019年から65歳以上の患者さまに、大きい腱板断裂があり修復困難なときや腱板断裂をしてから時間が経過して変形性肩関節症を併発した場合などに、リバース型人工肩関節置換術（以下RSA）を導入して手術をしてきました。痛みがない肩関節となり大変好評です。一方手術のときに人工関節を入れるために前方にある腱板（肩甲下筋腱）を上腕骨から切離し、最後に上腕骨へ再縫合することが必要でした。この再縫合部が術後に確実に修復されているかは、いまだ議論があるところで、約半数が修復できていないという報告があります。肩甲下筋腱は内旋筋力の大切な力源であり手術後のリハビリでこの筋力が弱い患者さまがでることが以前は多かったです。日常生活ではズボンがあげにくいという現象が起きていました。

この欠点を改善するべく2016年に伊藤正明先生が発表された肩甲下筋腱を切離しないでRSAを行う手術があります。理論上は肩甲下筋腱を温存すれば内旋筋力が保てるはずでありRSA手術の欠点を補えるものになりえます。一方手術は狭きついスペースで人工関節を設置することになり難易度が上がります。当院と高松平和病院でRSA手術を合計で約40例手術してから肩甲下筋腱温存手術をトライしてみることにしました。2014年11月からこの肩甲下筋腱部分温存手術を始めました。伊藤正明先生の発表された論文を読んでしまいましたが完全温存することは私には技術的に難しかったです。この部分温存のRSAを9例したところ、内旋筋力向上はもちろんありましたが、術後疼痛が明らかに少なかったことから早期にリハビリができたこと、術後の外固定期間が3-4週であったのですが1週間に短縮できたこと、それにより入院期間が6-8週間であったのが2-3週間に減ったことがわかりました。これは論文にはのっていない事柄でしたので大変驚きました。

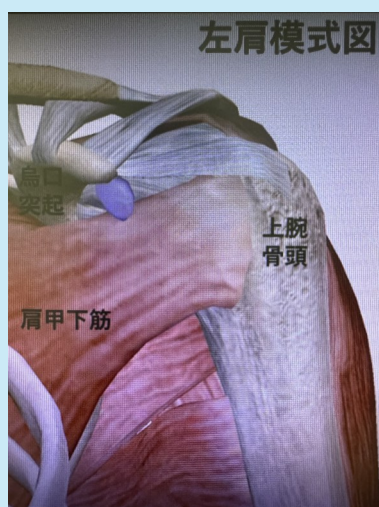
完全温存すればさらによくなるのではと考え、2025年8月に伊藤正明先生のセミナーがあり、これに参加しマンツーマンで肩甲下筋腱温存の手技を教えていただきました。同月に2名のRSA手術の患者さまがいたのでこの手術をさせていただくことになり、肩甲下筋腱を完全に温存して手術ができました。

肩甲下筋腱が完全に温存できれば術後脱臼のリスクを低下させることも期待できるともいわれています。

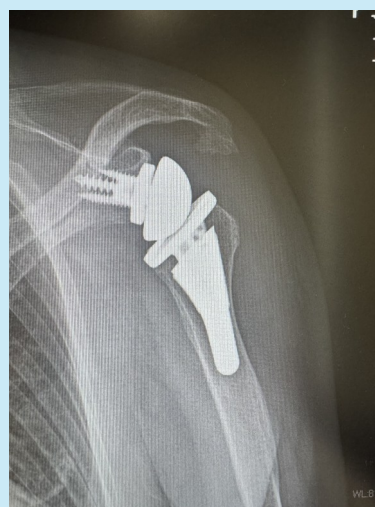
～ 肩甲下筋腱温存のRSA手術の利点のまとめ ～

- ①内旋筋力が向上（ズボンが上げやすくなる） ②術後脱臼のリスクを低下 ③術後疼痛が少ない
- ④リハビリが早期にできる ⑤外固定期間が短縮される ⑥入院期間が短縮される

今後もこの手術を継続して肩関節痛に悩む患者さまの手助けとなるように努力していこうと思います。肩関節痛で、お困りの方がおられましたらお力になれると思いますので、ぜひ受診をお勧めいただけますようお願いいたします。



肩甲下筋について



肩甲下筋を温存したRSA

～ 院内行事の紹介 ～



2025年12月10日 76周年 創立記念式 永年勤続者表彰
左上から 病院長挨拶、表彰状授与、表彰者代表挨拶、集合写真

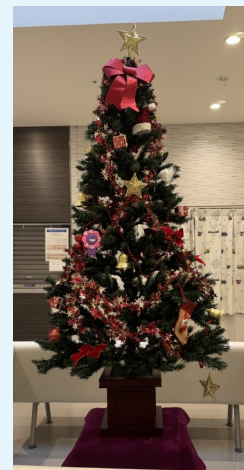


2025年11月23日 ～ 29日 医療安全推進週間
各部署ポスターを作成し2F エレベータホールに掲示しました。薬局の作品が病院長賞に輝きました。

～ 院内行事の紹介 ～



クリスマスを記念して1Fエレベーターホールに馬小屋
2F小児科待合にクリスマスツリーを設置しました。



今月の一言

わたしたちは忙しすぎます。
ほほえみを交わすひまさえありません。
ほほえみ
ふれあいを
忘れた人がいます。
これはとても大きな貧困です。

マザー・テレサ

医療相談窓口

医療の安全と信頼、サービス向上を図るために、
患者様・ご家族様の相談窓口を設けています。

～設置場所～

病院1F 総合案内「患者相談窓口」

対応時間 月・火・木・金曜日 8:00～17:00

水・土曜日 8:00～12:00

アクセスマップ 駐車場案内



AccessMap (アクセスマップ)

